

愛知県セルフガード協会のご紹介



愛知県セルフガード協会
Aichi Prefecture Self-Guard Association



会長 市川 周作

新年明けましておめでとうございます。
皆さまにおかれましては、健やかに新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

■愛知県の犯罪概況

警察庁の統計によりますと、令和元年の全国刑法犯認知件数は748,559件と前年よりも68,779件、対前年比8.4%減少し、愛知県でも同様に、49,956件と前年より5,124件対前年比9.3%減少しております。また、住宅対象侵入盗では平成19年から続いた全国ワースト1位から、13年ぶりに脱却したものの全国ワースト5位と上位に位置しております。

また、自動車盗も全国ワースト4位であり、依然として愛知県民の安全・安心を脅かす犯罪が身近で多発しております。

■協会の概要

当協会は、平成14年8月に愛知県警察本部のご指導のもとに設立され、愛知県安全なまちづくり推進協議会の幹事団体として活動してまいりました。現在、当協会の会員数は、防犯機器メーカー・防犯機器商社・防犯設備業などの事業所会員である正会員80社、個人会員31名、賛助会員2団体、特別会員1団体、計114会員となっております。

当協会には、126名の防犯設備士と、12名の総合防犯設備士が所属しています。その中で、愛知県警察本部生活安全部長と当協会長の連名により63名の防犯設備アドバイザーが委嘱されています。アドバイザーの皆様は、愛知県内の生活防犯にかかわる防犯講演・防犯診断・防犯相談・防犯機器の展示説明等に活躍していただいております。

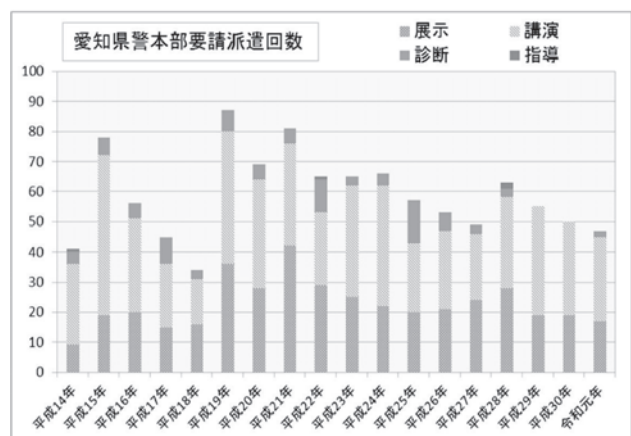
また、平成24年4月より愛知県警察以外の県内の一一般の皆様からも広くご依頼いただく防犯講演・防犯診断などに対応できるよう会則を改訂し、防犯設備士及び総合防犯設備士などの資格を持つ防犯設備アドバイザーの中より経験と専門知識に優れた防犯スペシャリストを愛知県セルフガード協会独自の「APSA防犯診断士」として任命し、現在23名の防犯診断士に活躍していただいております。

■地域安全活動の内容

◇警察が促進する地域安全活動

警察署が主催される防犯教室・防犯イベントに防犯設備アドバイザーの派遣要請をいただき、また、その他県内市町村などで開催される防犯イベント等でもボランティア参加の要請をいただき、防犯講演・防犯診断・防犯相談・防犯機器の展示説明などの地域安全活動を行っております。

防犯設備アドバイザーの派遣回数は、設立から令和元年度迄で延べ1,061回となり、大変活発に活動いただいております。



◇防犯設備アドバイザーの活動風景

・テレビの公開放送で防犯機器の説明



・関取(1日警察署長)とガラス割り実演



・実際のマンションで防犯診断



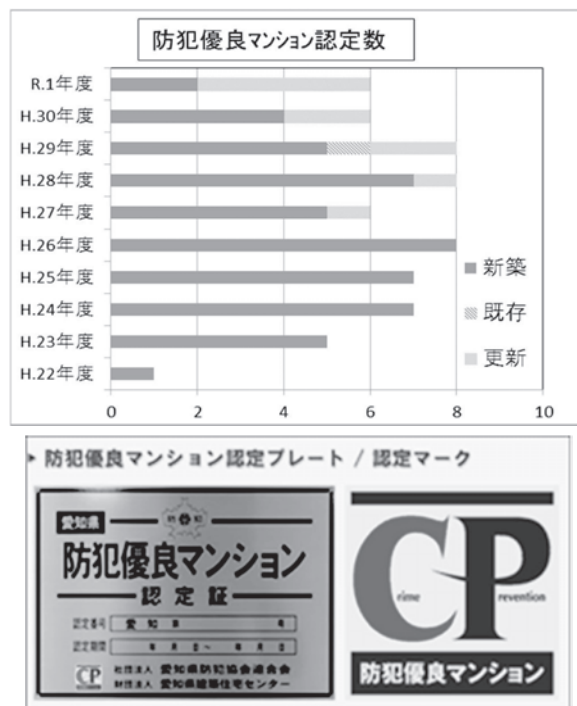
・ショッピングモールでガラス割り実演



■防犯優良マンションの審査

(一財)愛知県建築住宅センターと(公社)愛知県防犯協会連合会が共同で運営する愛知県防犯優良マンション認定制度において防犯設備の審査を担当させていただいております。

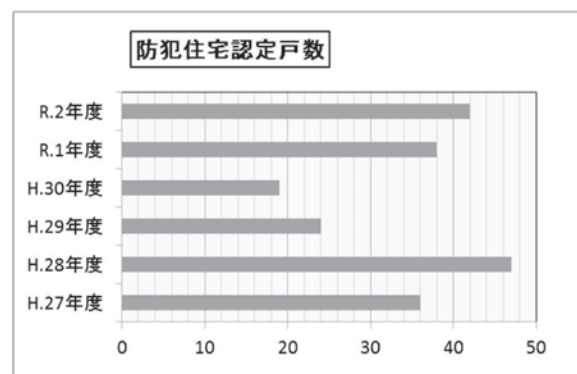
平成21年12月に第1号の認定プレートを交付し、令和2年3月までの認定件数は新築51件、既存1件、更新10件の併せて62件です。今後も更なる普及拡大が期待されています。



■防犯住宅認定制度(戸建て)の審査

愛知県住宅防犯対策協議会と愛知県警察が運営する愛知県防犯住宅認定制度が制定されて5年が経過しました。愛知県セルフガード協会は、この制度の審査を担当させていただいております。

平成27年2月に初回の審査会がスタートし、令和2年11月迄に206戸が認定されました。会員も増加しており裾野の拡大が期待できます。



防犯住宅認定ステッカー

審査に合格した住宅には
防犯住宅認定証明書と共に
防犯住宅認定ステッカー
配付されます。



■会員・防犯設備アドバイザーへの研修会

毎年巧妙化する犯罪情勢に対応するため、会員及び防犯設備アドバイザーの専門知識およびスキル向上のための講習会を開催しております。

・美和ロック玉城工場見学(平成29年)

防犯カメラや警報装置などのホームセキュリティ系のアドバイザーが増加する中で、住宅防犯の基本である錠前の基礎的知識や構造を製造過程を通じて学びました。



・LIXIL名古屋ショールーム見学(平成30年)

愛知県の住宅侵入盗はバールによる玄関ドアの破壊など手口が荒いという特徴があり、開口部の強化対策を勉強する為、ショールームで最新のCP部品を見学しました。



・加藤電機セキュリティラウンジ見学(令和元年)

愛知県は自動車盗の被害も多く、カーセキュリティシステムの加藤電機様ショールームで実装した車両で防犯対策の実演を見学しました。



■表彰

◇防犯設備アドバイザー表彰制度

警察の要請に応じボランティアを行う防犯設備アドバイザー活動において顕著な功績が認められる者を表彰する制度があり、毎年2名の方が総会の場において表彰されています。

・愛知県警生活安全部長と協会会長の連名で表彰

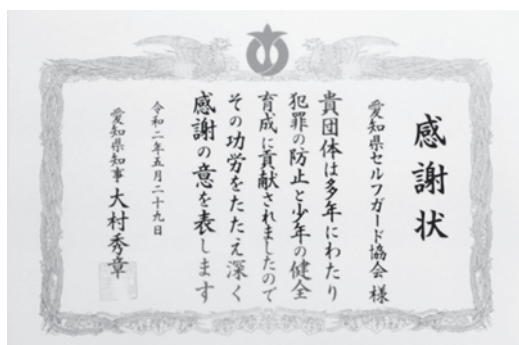


・愛知県防犯協会連合会会長より表彰



◇感謝状

令和2年は、愛知県知事より永年に亘る協会の防犯啓発活動に対し感謝状をいただきました。



■コロナ禍に見舞われた今年度の協会活動

令和2年度の協会活動は、年初から流行し始めた新型コロナウイルスの感染拡大というこれまでに経験したことがない危機に瀕して、前安倍首相の「緊急事態宣言」と共にスタートしました。

感染対策として3密の回避やステイホームが叫ばれ、協会活動は大きく制約されています。

協会の最大行事である「定時総会」が書面開催となり、アドバイザーの養成講習会やスキルアップ研修も中止となりました。

また、協会の骨格となる事業である「防犯設備アドバイザーの派遣業務（防犯講演、防犯相談、防犯診断、防犯機器の展示説明）」が主催者の開催自粛により殆ど実施できず、防犯啓発活動が極めて限定される状況が続いています。

このような状況の中で、何とか防犯講演ができないものかと今流行の「オンライン講演・講習会」も検討してはみましたが、受講対象者が不特定多数で高齢者が多いことから、オンラインの環境を整えることは現実的ではありません。

今年度実施できた防犯啓発活動としては、動画サイト向けの「防犯啓発動画」の制作協力や、マスコミへの取材協力などです。

1.防犯啓発動画の制作協力

「犯罪抑止の4原則」……………愛知県中警察署
「ガラス割り実演」……………愛知県警察本部
「防犯診断の実演」……………愛知県警察本部

2.マスコミへの取材協力

「ゴールデンウィークの侵入盗対策」
……………報道各社のニュース対応
「家庭の防犯対策」……………ラジオ放送出演
「安全なまち作り県民運動で防犯対策」
……………テレビ番組の取材協力

■ポストコロナの防犯啓発活動

令和3年度においても、新型コロナウイルスのワクチンや治療薬の開発は進むでしょうが、コロナ感染が完全に終息する保証は期待できません。

人々の生活や企業の活動にも新様式が求められています。我々のような防犯ボランティア団体においても新しい様式での防犯啓発活動を探求することが必要

であろうと思います。

3密の回避という観点から、従来の防犯啓発活動の中でもより対面の少ない「防犯相談」や「防犯診断」にシフトし、更に感染防止対策をしっかり講じた内容になると思います。

具体的には以下の事例です。

1.個別の防犯相談及び防犯診断

侵入盗の被害者宅（未遂を含む）の防犯相談や防犯診断を積極的に対応する。

管轄警察署と連携し、被害者の相談に応じ被害者宅に相応しい防犯対策を提案する。

2.地域住民の防犯パトロールの現地指導

地域住民が実施している防犯パトロールに同行して、現地でパトロールの注意点やチェックポイントを指導する。

住宅だけでなく、駐車場や公園、空き地や空き家の管理状態なども見ることで、町全体の防犯にも繋がる。

今後、警察や自治体等の関係団体の意見を聞きながら防犯啓発活動における新しい様式を模索したいと思います。

・名古屋市西区防犯パトロール風景



■終りに

愛知県セルフガード協会では防犯設備の専門知識と技術を結集し『自分の身は自分で守る』というセルフガードの考えを定着させ、「犯罪にあわない」「犯罪を起こさせない」「犯罪を見逃さない」まちづくりに貢献してまいります。